

当院で分娩前に胎児超音波検査をお受けになった方へ 臨床研究のお知らせとお願い

当院では、妊娠・分娩管理のために、分娩前7日以内に胎児超音波検査をなさった方を対象とした、下記の「後方視的研究」を実施しています。

「後方視的研究」とは、既に治療が行われた患者さん（本研究では、妊産婦さんと赤ちゃん）の診療内容について、診療記録（カルテや検査結果等）から、診療記録に記載されている範囲内で分かる、患者さんの治療経過などの臨床データを調査して、新しい治療体系を構築するなどの医療の向上を目的とした研究です。当院では、医学や医療技術が進展することで、皆様の健康保持および生活の質の向上に貢献することを目標とした研究に取り組んでいます。研究を実施する際は、患者さんの個人情報厳重に保護します。

もし、ご自身が研究の対象者に該当する可能性があり、研究への診療情報の調査を行って欲しくないなどのご希望がございましたら、問合せ先にご連絡ください。代理の方でも結構です。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

実施部署名	古賀総合病院 産婦人科 (研究責任者：谷口 肇)
研究課題名	分娩前超音波検査による推定胎児体重の精度および推定誤差に関連する因子の検討
研究の意義・目的・方法	<意義・目的> 胎児超音波検査による推定胎児体重（estimated fetal weight：EFW）は、日常の周産期診療において胎児発育の評価や分娩管理方針の決定に広く用いられています。一方、EFW と実際の出生体重との間には一定の誤差が生じることが知られており、その程度や誤差に関連する因子を明らかにすることは、より適切な胎児発育評価および分娩管理につながると考えられます。本研究では、当院で分娩された妊産婦さんについて、分娩前1週間以内に実施された超音波検査による EFW と実際の出生体重を比較し、その推定精度を評価するとともに、臨床的に重要な推定誤差に関連する因子を検討することで、周産期医療の向上に資することを目的とします。 <方法> 2021年8月から2026年8月までに当院で分娩され、分娩7日以内に胎児超音波検査を実施した方を対象とし、超音波検査のデータ、新生児の性別・体重、母体の基本情報（年齢、身長、体重、出産回数、合併症名など）、妊娠週数、羊水量、分娩方法などについて、診療記録に記載された過去の情報を研究に使わせていただきます。患者さんの個人情報は取り扱いません。個人情報を適切に保護する情報管理責任者は研究責任者です。 研究期間は、2026年12月31日までです。
個人情報の取扱い	診療記録の情報は、研究目的に必要な範囲を超えて取り扱わず、個人情報の保護に細心の注意を払い厳重に管理します。研究成果は、国内外の学会又は医学雑誌で発表する予定です。その際も個人を識別できる情報は含みません。
問い合わせ先	古賀総合病院 産婦人科 部長 谷口 肇 電話(代)0985-39-8888